

(東広協 13-06)  
平成25年12月19日

# Information



〒104-0061  
中央区銀座 7-4-17(電通銀座ビル7F)  
tel. 03-3569-3566 fax. 03-3572-5733

## 記者各位

### 第33回(平成26年)「東京広告協会 白川 忍賞」 鏡 明氏(株)ドリル エグゼクティブ・アドバイザー)に贈賞

公益社団法人東京広告協会の第33回(平成26年)「東京広告協会 白川 忍賞」選考委員会が平成25年12月6日に開かれ、鏡 明氏(株)ドリル エグゼクティブ・アドバイザー、一般社団法人全日本シーエム放送連盟国際委員会委員長)に同賞が贈呈されることが決まった。

同賞は昭和22年に設立された日本広告会(現東京広告協会)の初代理事長・故白川 忍氏(株)資生堂宣伝普及部長、同常務取締役等歴任)より贈与された寄付金をもとに、昭和57年に制定されたもので、同氏の広告界における卓越した業績を讃えて、毎年広告の発展向上に貢献した業績や活動に対して贈られる。

贈賞は平成26年2月21日(金)、丸の内・東京會館で開かれる第86回東京広告協会定時総会の席上行われる。

贈賞理由は下記の通り。

#### 第33回「東京広告協会 白川 忍賞」

鏡 明(かがみ あきら)氏(株)ドリル エグゼクティブ・アドバイザー、  
一般社団法人全日本シーエム放送連盟国際委員会委員長)

〈贈賞理由〉

1971年電通入社、2012年3月電通 顧問退任後、現職。長年トップクリエイターとして活躍し、ACC賞、カンヌ、アドフェストをはじめとする国内外の広告賞を多数受賞。2002年、アジア太平洋広告祭(アドフェスト)でアジア人初の審査委員長、2009年カンヌ国際広告祭では東アジア初の審査委員長を務め、2012年のアドフェストでは、「ロータス・レジェンド」として表彰されるなど、1クリエイターの域を超えて、公益目的事業に大きく貢献された。全広連が日本代表チームを選考・派遣するアドフェスト「ヤング・ロータス・ワークショップ」の国内選考会審査員長や、全広連主催「シンポジウム」のモデレーターを務めるなど、協会活動にも多大な尽力をされた功績がみとめられた。

※当リリースに関するお問い合わせは東京広告協会(☎03-3569-3566)まで。

## ◆鏡 明氏 プロフィール



### 鏡 明（かがみ あきら）

株式会社ドリル エグゼクティブ・アドバイザー  
一般社団法人全日本シーエム放送連盟 国際委員会委員長

1948年山形県生まれ。早稲田大学文学部卒業後、  
1971年電通入社。2012年3月電通 顧問退任後、現職。  
ACC賞、カンヌ、アドフェストをはじめとする国内外の広告賞で受賞多数、また審査員を務める。2002年、アジア最大の広告賞アドフェストでアジア人初の審査委員長を務め、2009年カンヌ国際広告祭では東アジア初の審査委員長に就任。2012年アドフェストで「ロータス・レジェンド」受賞。

主な作品は、東京海上火災「損害保険シリーズ」、パナソニック「ルーカスの仲間たち」他「マックロード」「ナショナルのあかり」、WOWOW「走る女」「BIRD MAN」等。

大学在学中には「SFマガジン」で翻訳家デビュー、その後SF小説家、書評家としてもデビューし、作品に「不確定世界の探偵物語」、訳書に「蜃気楼の戦士」など多数。現在「本の雑誌」で『連続的SF話』を連載中。